

令和 7 年度「ふくしま共創チーム」について

令和 8 年 9 月 9 日
ふくしま創生・人口戦略有識者会議
(事務局：復興・総合計画課)

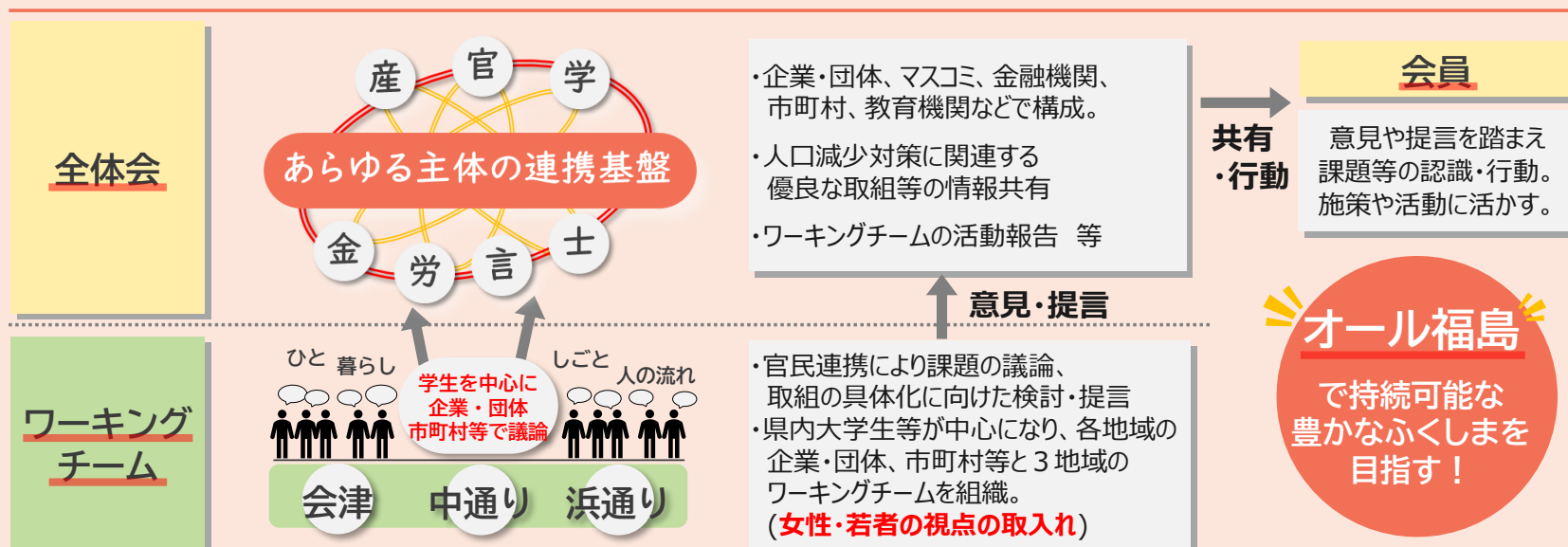
ふくしま共創チームの概要



- 福島県は、若年層、特に女性の転出が顕著であり、婚姻数の減少や出生数の減少につながるなど、人口減少が加速している状況。
- 福島県では、令和7年7月、この危機的な状況に立ち向かうため、県内の産官学金労言士が一丸となり、人口減少により生じる様々な困難に「オール福島」で対応していくため、人口減少への危機感を共有し、共に課題を探り、地方創生・人口減少対策を検討・実行するための連携基盤として「ふくしま共創チーム」を設立した。

ふくしま共創チーム

R7.7.16時点
(614団体)



令和7年度のふくしま共創チームの取組

- 7月、あらゆる主体の官民連携基盤として「**ふくしま共創チーム**」を設立。（キックオフミーティングを開催）
- 9～12月に県内3地域（浜通り・中通り・会津）で、県内大学生等や企業・団体、市町村で構成する「**ワーキングチーム**」の活動を開催し、各地域で2回（計6回）、延べ162名が参加し、企業訪問やワークショップを通して、「**若者の視点**」も大切にしながら本県の人口減少対策に何が必要か議論を行った。
- 2月に活動報告会を開催し、各地域ワーキングチーム参加学生が議論や意見を取りまとめ発表を行った。

令和7年4月 「ふくしま創生・人口戦略本部」新設

令和7年7月 「ふくしま共創チーム」設立（キックオフMTG開催）

令和7年9月 第1回ワーキングチームの開催

令和7年10月 中間報告会の開催

令和7年11月～12月 第2回ワーキングチームの開催

令和8年2月 活動報告会の開催（2/18）



キックオフミーティング (令和7年7月16日開催)

人口減少問題に立ち向かうため、
共に考え、共に挑戦し、
オール福島で
豊かな未来を創っていきましょう！

- 人口減少への危機感を共有し、県内の産官学金労言士等のあらゆる主体が連携して人口減少対策に取り組む基盤（仕組み）として、令和7年7月16日に「ふくしま共創チーム」を設立しました。
※設立時会員614団体



内堀知事



河合雅司様による基調講演
(人口減少対策総合研究所理事長)

ワーキングチームの流れ

企業訪問

先進的な取組の企業や
地域に根付く企業の視察



ワークショップ

グループ内で
自社の取組・意見を共有、
要素(良い・悪い)を抽出



グループ内で要因を分析、
解決のためのアイデア出し、
まとめ・発表



第1回ワーキングチーム（訪問企業・ワークショップ会場）

第1回・中通り

■ 訪問企業 【渋谷レックス株式会社 様】

「菓子の地方卸売りから菓子の総合商社へ」を目標に掲げ、お菓子の卸売りを基幹事業とし、食料品小売事業、市場開発・商品開発、海外事業、電子商取引など、事業やチャネルの拡大に挑戦している。

企業経営の面では、2022年の改装での先進的なオフィスづくりが評価され、日経ニューオフィス賞「東北ニューオフィス推進賞」を受賞、2024年にも改装を続け、従業員の就業環境の改善を推進するなど、社員の力が最大限発揮されるような環境づくりにも注力している。



■ ワークショップ会場 【福島市クリエイティブビジネスサロン（交流スペース）】



第1回・浜通り

■ 訪問企業 【株式会社東日本計算センター 様】

行政、金融、製造、流通、医療などの多様な業界の活動に、ICTを通じた付加価値やソリューションを提供する幅広い事業展開を行い、「地域未来牽引企業」として先進の技術に挑戦している。2019年にはいわき市の廃校を利用したイノベーションセンターを開設し、ロボット・ドローン分野の研究や産学連携事業、地域交流も行っている。

また、社内の育児・介護と仕事の両立支援制度の充実や、オフィスカジュアルの導入など、ワークライフバランスを尊重した長く仕事を続けられる制度構築にも取り組んでいる。



■ ワークショップ会場 【イオンモールいわき小名浜 4Fイオンホール】



第1回・会津

■ 訪問企業 【若松ガス株式会社 様】

「このまちと人の暮らしを豊かにするエナジーカンパニー」を目標に掲げ、都市ガス、LPガスを中心にエネルギーを安全・安定して供給するほか、カーボンニュートラルへの取り組みや、地域に密着した企業として料理教室や小学校への出前講座など、社会貢献にも取り組んでいる。

従業員の働き方や環境整備にも積極的に取り組んでおり、男性育休取得の推進、フレックスタイム制度導入、女性管理職登用などの取り組みを進めている。くるみん取得、ふくしま健康経営「長期」優良事業所、「イクボス宣言」など、活力ある会社づくりを推進している。



■ ワークショップ会場 【ヒューマンハブ天寧寺倉庫（2F コワーキングオフィス）】



第2回ワーキングチーム（訪問企業・ワークショップ会場）

第2回・中通り

■ 訪問企業【日東紡績株式会社 富久山事業センター 様】

1923年に福島県で繊維メーカーとして創立して以来、グラスファイバー工業化、グラスウール工業化、機能性ポリマー「PAA®」の工業化等、新たな技術を切り拓き、これまでに存在しない世界初、日本初の素材を創り出してきた。

2023年創立100周年を迎え、長年の技術・知識を蓄積、継承し、時代の変化をチャンスとして新技術への挑戦、成長を続けている。

今回訪問する富久山事業センターでは、スマートフォンやPCなどの精密機材に使用されるグラスファイバー等の製造や、将来を見据えた研究開発・技術開発が行われている。



■ ワークショップ会場

【株式会社エフコム ドリーム・ラボ上伊豆島】



（株）エフコムが所有するドリーム・ラボ上伊豆島は、廃校となった小学校を再利用し、オフィス、コワーキングスペース、多目的スペースなどを備えた産業創成・地域交流の拠点施設です。

第2回・浜通り

■ 訪問企業 【株式会社おのざき 様】

1923年創業の福島県最大級の老舗鮮魚店。常磐ものを取り扱う福島県最大の鮮魚店。魚を通じて「街をもっと多彩に、もっと面白く」という企業理念を掲げ、積み重ねてきた信用を土台に、大型店舗「鮮場やっちゃば」や「寿司おのざき」、「潮目食堂」などの飲食店も含め、市内に複数店舗出店し、ふくしまが世界に誇る「常磐もの」の魅力を発信している。

今回は、「やっちゃば平総本店」を訪問するほか、2020年に東京からUターンし、新商品開発や組織改革などに取り組まれている小野崎雄一代表取締役から講話をいただきます。
※講話はいわき産業創造館（LATOV6f）セミナー室で開催



■ ワークショップ会場

【産業創造館 企画展示室B】



第2回・会津

■ 訪問企業 【会津中央乳業㈱ 様】

1948年、二瓶牛乳として創業。会津磐梯山を中心とする良質な生乳を使用した風味豊かな牛乳をはじめ、濃厚でなめらかな味わいのヨーグルト「会津の雪」など、「べこの乳」ブランドの製品を開発、展開している。毎年父の日には「べこ乳マルシェ」を開催し地域を盛り上げているほか、近年では「飲みにくいほど濃厚」と有名な、地元で愛される飲むヨーグルトも注目を集めている。



■ ワークショップ会場

【スマートシティAiCT（交流棟）】



ふくしま共創チームの意見を踏まえた事業構築



- 2025年7月、オール福島で「連携・共創」し人口減少対策に取り組むため、あらゆる主体の連携基盤「**ふくしま共創チーム**」を設立。
- 9月から県内3地域(浜通り・中通り・会津)で、学生や企業・団体、市町村で構成する「**ワーキングチーム**」の活動を実施。
- 各地域で2回(計6回)、延162名が参加し、「**魅力的な働き方**」「**地域愛着形成**」をテーマに、企業訪問やワークショップを通して、「**若者の視点**」も大切にしながら本県の人口減少対策に必要なことを議論。
- **チームの意見を踏まえたR8事業を構築**。今後も**チームの輪を広げ、ふくしまの未来を共に考え、共に創っていく**。

WTの主な意見

事業の方向性

主な事業

しごと	魅力的な企業、知りたい情報が学生・若者に伝わっていない	若者に届く 情報発信	『感動！ふくしま』プロジェクト		
	学生向けに長めのインターンなどがあるとよい			情報発信事業	気づき・体験機会 創出事業
	若手でも挑戦できる雰囲気がある会社・風土は魅力的			就職マッチング事業	魅力ある 職場づくり事業
	育休や有休など制度を実際に使えるか。上司や職場の理解が大切				
	従業員の健康面を意識しサポートする企業に魅力を感じる				
ひと・暮らし	働く大人の顔が見えること、地域の企業を知ることは大切	誰もが働きやすい 職場づくり	新 ふくしま健活推進プロジェクト		
	子どもの頃に福島の魅力を知る経験が大事			新 探究的な学び推進関連事業 ※関連事業を統合して掲載	
	児童・生徒が地域のことを学び、発表する機会があると良い				新 未来へつなぐ猪苗代湖交流学习推進事業
	スポーツなどでみんなで一緒に盛り上げたい				
人の流れ	他地域の人の受入・交流が新しい関わり方や地元愛につながる	ふくしまとのつながりづくり	新 ふくしま関係人口拡大・深化プロジェクト		
	行政のHPや発信は難しい。伝わっていない。時代に遅れている	分かりやすい情報発信	新 県公式Webサイト再構築事業		